

平成30年度 基本事業評価シート (平成29年度実績評価)

政策 03 こころ豊かに暮らせるまち

施策 03 人権の尊重

基本事業 03 虐待などの人権問題の解消

主管課： 児童福祉課

関係課： 介護福祉課、市民協働推進課

1 基本事業の目的

<b>対象 (誰, 何を対象としているか)</b> 子ども, 高齢者, 配偶者	<b>意図 (どのような状態にしたいのか)</b> 子ども, 高齢者, 障がい者, 配偶者間の人権が尊重され, 虐待などの人権問題が解消されるように努める。
--	---

2 基本事業の成果状況 (意図の達成度を図る成果指標とその動向)

児童虐待件数 (年間) (件) 児童福祉課					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
<b>向上指針</b>	下がると良い	(状況) 平成28年度と同様に平成29年度は0件となり目標値を達成しています。 (原因) 虐待による入所措置がなかった要因としては, 子どもを親から離さなければならない事由がなく, 在宅にて継続して支援することで対応できると判断したためです。			
<b>対前年度</b>	向上				
<b>目標達成度</b>	達成				
<b>次年度課題</b>	課題としない				

児童虐待相談件数 (年間) (件) 児童福祉課					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
36.00	48.00	41.00	30.00	30.00	30.00
<b>向上指針</b>	下がると良い	(状況) 平成28年度からは7件の減少, 基準値からは5件増加しています。 (原因) 虐待に対する通報制度が社会的に浸透し, 警察のほか近隣住民及び保育所, 幼稚園, 学校等からの通報が多くなったため, 相談件数は近年, 高い数値で推移しています。虐待の内容としては, 親同士の喧嘩を目の当たりにすることによる心理的虐待が24件と最も多く, 身体的虐待及びネグレクト (育児放棄) も8件ずつとなっています。			
<b>対前年度</b>	向上				
<b>目標達成度</b>	低				
<b>次年度課題</b>	課題とする				

高齢者虐待件数 (年間) (件) 介護福祉課					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
4.00	11.00	18.00	0.00	0.00	0.00
<b>向上指針</b>	下がると良い	(状況) 前年度比較で7件, 基準値からも14件増加しています。 (原因) 地域, 事業所, 病院及び警察等関係機関との連携を密にしている, 虐待の恐れを含めて情報が多く寄せられるようになったためです。			
<b>対前年度</b>	低下				
<b>目標達成度</b>	低				
<b>次年度課題</b>	課題とする				

高齢者虐待相談件数 (年間) (件) 介護福祉課					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
7.00	15.00	18.00	0.00	0.00	5.00
<b>向上指針</b>	下がると良い	(状況) 前年度比較で3件, 基準値からも11件増加しています。 (原因) 地域, 事業所, 病院及び警察等の関係機関との連携による相談体制が進んでいるためです。			
<b>対前年度</b>	低下				
<b>目標達成度</b>	低				
<b>次年度課題</b>	課題とする				

